

「共通ワークシート」（B判）の活用について

評価・評定のしくみは、結果的に生徒に対する指導者の一層の観察を求めるものとなっています。絶対評価の評定の根拠が「観点別学習状況の評価」にある以上、日常的な学習に対する生徒の目標実現状況を確実に把握する必要があります。

しかし観察が最も確かつ適切な手段とはいっても、すべての生徒をおしなべて観察をしていくというのは至難です。また観察には記録性がないという点で、評価・評定の「開示責任」を果たすとき客観性が乏しいと指摘される可能性も否定できません。

この「共通ワークシート」は観察の手段として生徒の能動的な記録を参照しようという発想で作成しました。

すでに各学校においては生徒の自主的な学習に資する独自のワークシート（プリント）等を作成されていることと思います。本項では、全国の学校の事例から、評価に参照できるシートをご提供いただき、供給版では13種類のワークシートを用意しました。

このサンプル版はPDF形式ですが、供給版はWord形式で作成しておりますので、いずれも書き換えが可能です。お持ちのパソコンに取り込み、種目別ワークシートと併せてご活用ください。

なおワークシートはB 5判を基本に構成してあります（一部にB 4判あり）。記録後は学習ノートに張り付けたりファイリングしたりして保存できるよう指導してください。